



子供用自転車選びのポイント



お子様用自転車には大きく分けて3つの種類があります。

- ① ペダルについていないバランスバイク
 - ② 補助輪が付いている幼児用自転車
 - ③ 補助輪が付いていないジュニアサイクル
- それぞれの特徴が下記のとおりです。

① バランスバイク

バランス感覚が養われスムーズに補助輪なし自転車に乗れるようになります。バランスバイクにはブレーキが付いている自転車に近いタイプとブレーキなしのタイプがあります。

	ブレーキあり	ブレーキなし
大きさ	12インチ	12インチ
重さ	約5キロ	約3キロ
タイヤ	空気入り（大人用自転車と同じタイプ）	空気なし（三輪車などと同じ樹脂製タイヤ）
対象年齢目安	2歳～5歳	1歳半～5歳

※体操年齢はあくまで目安です。

●ブレーキ付きタイプの特徴

幼児用自転車やジュニアサイクルに乗り換える前にブレーキで止まる練習ができるので、乗り換えがスムーズ。

●ブレーキなしタイプの特徴

樹脂製タイヤなのでパンクの心配がない。軽量で小さなお子様でも操作が楽で持ち運びも簡単。



② 幼児用自転車

幼児用自転車には12インチ、14インチ、16インチ、18インチと4サイズあります。バランスバイクからの乗り換えの場合は16インチ、18インチを選ばれる方が増えています。

大きさ	12インチ	14インチ	16インチ	18インチ
適応身長目安	85cm～	95cm～	105cm～	115cm～

※適応身長はあくまで目安です。

お子様の体格やバランスバイクの経験があるのかなどで選ぶサイズが変わることがあるので自転車店スタッフに相談しましょう。

バランスバイクから幼児用自転車に乗り換える方のなかには補助輪を最初から外して使用される方もおられます。補助輪を外した場合スタンドが必要になることがあります。



③ ジュニアサイクル

主に小学生が乗る補助輪なしの自転車です。大人用マウンテンバイクを小さくしたようなタイプと大人用シティサイクルを小さくしたようなタイプがあります。大人の自転車と同じで変速機が付いているものなど機能にも違いがあるのでチェックしてみてください。

大きさ	20インチ	22インチ	24インチ	26インチ
適応身長目安	125cm～	130cm～	135cm～	140cm～

※適応身長はあくまで目安です。

<注意>マウンテンバイクタイプとシティサイクルタイプでは同じタイヤサイズでも規格の違いがあります。マウンテンバイクタイプのほうが少し小さく足つきがよくなる傾向があります。ネット通販で購入する場合はタイヤサイズだけではなくサドルの最低地上高も参考にして下さい。

【 サイズ選びのポイント 】

子供用自転車のサイズ選びで共通しているポイントは【足がしっかり地面につくこと】と【ハンドルに手がちゃんと届くか】です。足つきに関してはそれぞれの自転車タイプでかわってくるため後でお伝えします。ハンドルに手がちゃんと届く状態とは、両手でグリップを握りハンドルを左右に動かしたときに、ひじの曲げ伸ばしでハンドルを動かしている状態です。肩が動く場合は少しハンドルが遠い場合があります。

① バランスバイク

サドルに座り膝が少し曲がるぐらいが適正な大きさです。バランスバイクは足で地面をけて進むため、つま先立ちでは地面をうまく進めません。

② 幼児用自転車

●補助輪付きで使う場合

成長を見越して少し大きめを選んでもOKです。ただ大きくなると乗り降りが難しくなったり、ハンドルに手が届きにくくなる場合があります。サドルに座り両足の裏がすべて地面につくか、足の半分ぐらいまでが届く高さを目安に考えてください。

●補助輪を外して使う場合

サドルに座り両足の裏がすべて地面につくか、踵が少し浮くぐらいを目安に考えてください。これ以上高くすると自転車を支えきれなくなって転倒しやすくなる場合があります。

③ ジュニアサイクル

サドルに座り両足の裏がすべて地面につくか、足の半分ぐらいまでが届く高さを目安に考えてください。

実際に自転車に跨ってみるのがサイズを確認するには一番です。お住まいの近くに自転車店があるのであればお子様といっしょに足を運んでみてください。お店の自転車に跨ってみたいときはスタッフに一声かけてからにしましょう。